0/0

●●区胃がん検診 精密検査依頼書 兼 結果報告書

目がん特	密検査依頼書						年	月	日
医療機関長 様御担当医 様	「個人識別情報」	は、記入内容にあ		返送先 〒 住所 : FEL :					
下記の方は●●	区胃がん検診の結果、要素	密検査となりました	<u></u>	で、御高診の上	. 宜	しく御指導をお願い申	し上げま	す。	
氏名•性別		(男・女)		検診E	1		年	月	田
生年月日	年	月 日		検診機関	名				
個人識別	全球 (全球)			検診		ニックス線検査 内視鏡検査			
情報	項目の記入欄として使			方法	診	寺生検プロあり	<u> </u>] なし)
精密検査	結果(貴院記入	、用) 精密検査	結	果について御言	己人	の上、御返送くださいる	ますようお	ほいいた	<u>-</u> します。

- ※ 精密検査結果の区市町村及び区市町村から委託を受けた検診機関への提供は、個人情報保護 法の例外事項として認められています(「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」(個人情報保護委員会・厚生労働省)において個人情報保護法第23条第1項第3号の第三者提供の例外とされています。)。
- ※ 御記入いただいた内容は、区市町村が「地域保健・健康増進事業報告」(厚生労働省)に計上し、 国及び都の地域保健施策のための基礎資料となります。

精密検査 実施した全ての検査を チェックしてください	□ 生検 	消化管内 ※ 点線の左の番号 は、『「精密検査結果報告書(東京 都統一様式)」と「地域保健・健康増進事業報告集計表」 との対照表』の 該当箇所番号 以外(根
① 診断区分② 判明した全ての病変を チェックしてください	口胃が	なし・胃部以外の疾患(食道がん、十二指腸がん等) ん (口 粘膜内 口 粘膜下層 口 進行がん) んの疑いのある者又は未確定
6	「□胃が	ん以外の胃部の疾患(転移性の胃がんを含む)
精密検査時の 偶発症		療を要するものとする(例:前投薬起因性ショック、消化管出血(輸血や手術を要 を、消化管穿孔、腹膜炎等)。
<u>該当する場合のみ</u> ⑦ チェックしてください	ロあり	⇒ 内容(□ 穿孔 □出血 □その他 ())
精密検査実施日		精密検査実施医療機関名 精密検査担当医師名
年月	日	TEL

「胃がん検診精密検査結果報告書(東京都統一様式)」と「地域保健・健康増進事業報告集計表」との対照表

※本対照表は「令和2年度地域保健・健康増進事業報告」に基づき作成している。今後、同報告の内容に変更等があった場合には、必要に応じて本対照表を修正する。

【胃がん検診 胃部エックス線検査の精密検査結果】

		1.0		偶発症の有無別人数								
			精密検査				未受診	未 把 握	検診中/検診後		精密検査中/精密検査後	
	異 常 認めず (;	異常を認める								
要精密 検査者数 (年度中)		胃がんで あった者 (転移性を 含まない)	胃がんの う ち 早期がん	早期がん のうち粘 膜内がん	胃がんの 疑いのある 者 又 は 未 確 定	胃がん以外 の疾患で あった者 (転移性の胃 がんを含む)			重 篤 な 偶発症を 確 認	偶発症 による 死亡あり	重 第 な 偶発症を 確 認	偶発症 による 死亡あり
	1	2	3+4	3	5	6	Α	В			7	 2

A未受診 :「要精密検査者数(年度中)」のうち、精密検査実施機関を受診しなかったことが判明している者及び精密検査として不適切な検査のみが行われた者の数

B未把握 :「要精密検査者数(年度中)」のうち、精密検査の受診の有無が不明な者及び精密検査結果が正確に判明しなかった者(※1)の数(=精密検査受診者・精密検査未受診者以外の全ての者の数)

【胃がん検診 胃内視鏡検査の精密検査結果】

ſ	THIS TO DO	要精密検査者			精密検査受診の有無別人数									偶発症の有無別人数			
要 検:		+A =A n+ +L +A		精密検査(生検または再検査)受診者								検診中/検診後		精密検査中/	/精密検査後		
	要精密 検査者数 (年度中)	者数 検診時生検 受診のうち		検診時生検 未受診の うち 要再検査 (年度中)	異 常 認めず	胃が ん で あった者 (転移性を 含まない)	胃がんの う ち 早期がん	異常を認める胃がんの胃がん以外早期がんのうち粘膜内がんを検出であった者(転移性の胃がんを含む)			検診時生検 未受診の うち 再検査 未受診	検診時生検 未受診の うち 再検査 未把握	重 篤 な 偶発症を 確 認	偶発症 による 死亡あり	重 篤 な 偶発症を 確 認	偶 発 症 による 死亡あり	
			$\widehat{\mathcal{P}}$	④	1	2	3+4	3	(5)	6	Α	В			7	% 2	

A未受診 :「要精密検査者数(年度中)」のうち、内視鏡検診時には生検を受診せず、ダブルチェックで要再検査となったが、精密検査(再検査)実施機関を受診しなかったことが判明している者及び精密検査(再検査)として不適切な検査のみが行われた者の数

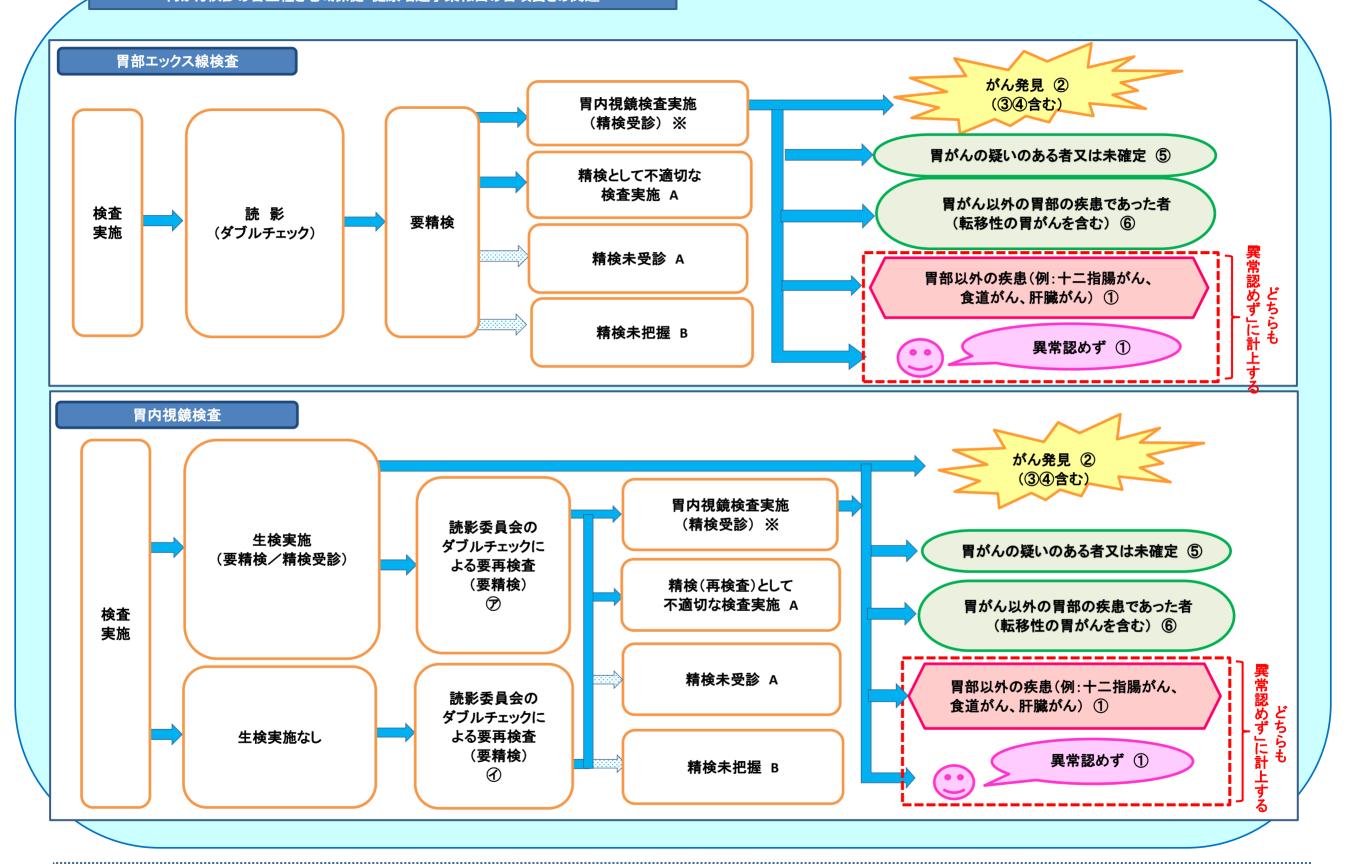
B未把握:「要精密検査者数(年度中)」のうち、内視鏡検診時には生検を受診せず、ダブルチェックで要再検査となったが、精密検査(再検査)の受診の有無が不明な者及び精密検査(再検査)結果が正確に判明しなかった者(※1)の数(=精密検査受診者・精密検査未受診者以外の全ての者の数)

※1 「精密検査結果が正確に判明しなかった者」

精検受診とは、精密検査受診日・精密検査実施機関・精密検査方法・精密検査結果の4項目が全て判明している者 このうち1項目でも把握できなければB(未把握)となります。

※2 「偶発症による死亡あり」について

東京都統一様式には「偶発症による死亡」の項目を設けていないため、精密検査実施機関より報告があった場合に計上してくださいますようお願いいたします。



※精検受診とは、精密検査受診日・精密検査実施機関・精密検査方法・精密検査結果の4項目が全て判明している者。このうち1項目でも把握できなければB(未把握)となります。